

Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2013
VOL.

2

秋

特集

まもり続けるもの

「世界遺産」

遠くて近い、人類の宝

<http://www.naturegame.or.jp/>



公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会



スポーツ振興くじ助成事業

自然をまるかじり
No.2

落葉の窓を
つくってみよう



赤・黄・緑・焦げ茶…。

道端や公園で、気に入った落葉を拾って

太陽にかざしてみると

一枚の葉っぱがいきいきと

さまざまなことを伝えてくる。

ひとつひとつ異なる色の美しさ

毛細血管のような葉脈

ユニークな形の虫食いの穴…。

それぞれの葉がたどった時間に思いを馳せて

葉っぱが織りなす秋を、存分に楽しみたい。

『シェアリングネイチャー』
それは、人が自然を尊重し
共生していく社会のキーワード。
公益社団法人 日本シェアリングネイチャー協会は
『自然と遊び、自然から学ぶよろこびにあふれた生活』
—をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

Sharing
Nature
Life

シェアリングネイチャーライフ

2013 2 9月号 秋

contents

自然をまるかじり	2
特集 ●まもり続けるもの	3
イベントレポート	7
被災地復興支援情報	7
News	7
自然が先生 ●動物のふしぎな力	8
やってみよう! ネイチャーゲーム 〈目かくしイモ虫〉	8
プレゼント	9
先人の知恵 ●自然農法 須賀一男・サカ江さん	10
四角友里 ●なんにもしないアウトドア	12

編集後記

特集のテーマとした富士山は、童謡で「日本一の山」と歌われるように、日本を代表する山です。その富士山の世界遺産登録で、今年は今まで以上に海外からも多くの観光客が押し寄せました。彼らに富士山はどう写ったでしょうか。日本一の富士山が、今後、真の「日本の顔」となり、日本を象徴する存在になれるかどうか…。それは、私たちひとりひとりの行動にかかっているようです。世界遺産という遠くて偉大な自然を、身近に感じられた取材でした。



東海道
五拾三次之内
田井

受け

「世界遺産」
遠くて近い、人類の宝

継ぎたい こころと自然

2013年6月、第37回世界遺産委員会で富士山が世界遺産に登録されました。190の加盟国の代表は、富士山の何を評価し「人類共通の財産」と認定したのでしょうか。そして、『世界遺産』に登録されるという真の意味は…。日本自然保護協会の吉田正人さんにかがいました。

自然の守り人
【大学院教授】
吉田正人さん



公益財団法人日本自然保護協会専務理事。筑波大学大学院教授。おもに、人間活動が自然生態系に与える影響と、それに対する保全対策を対象に、研究や活動を行っている。



富士山の登録で、この夏再び注目を集めた『世界遺産』。日本は、すでに17の世界遺産を有する国となりました。そのなかには、法隆寺地域の仏教建造物や白川郷・五箇山の合掌造り集落などの文化遺産の他、屋久島、白神山地、知床、小笠原諸島という、日本独自の自然を誇る地域が含まれています。

「南北に長い日本は、国土面積は決して大きくありませんが、生態系・生物種ともに多様性の豊かな国です。流氷が接岸するような地域から、サンゴ礁の広がる海までを有する国というのは、世界広しといえどもそう多くはありません」と語るの、国際自然保護連合(IUCN)の日本委員会会長も務める、日本自然保

護協会理事の吉田正人さん。長年に渡り日本の自然保護に尽力し、現在は筑波大学大学院で生物多様性保全や世界遺産を含む自然保護法制度の研究などを行っています。

「このたびの富士山の登録は、自然遺産・文化遺産・複合遺産という3つのカテゴリーがある世界遺産の『文化遺産』として登録されました。富士山は、もちろん自然美・自然景観の点で自然遺産に値する価値があります。しかしそのほかにも、

古から人びとの信仰の対象とされてきた歴史。そして、海外の芸術家にも多大な影響を与えた浮世絵をはじめとした、芸術の原泉」という価値を加味し、『文化遺産』に申請された訳です」

自然の「威厳」を感じる登山 適正人数へのルールづくり

富士山は、古くは幾度となく噴火をくり返すことから「神が宿る山」とし畏れ

られ、時代がたつにつれ山岳信仰と結びついて、修験者が登る「信仰の山」となります。一方、広く民衆に定着したものに、麓から山頂を拝み、また麓の霊地の巡礼を行うことで、富士山に居所する神の霊力を得て自らの擬死再生を願うという『富士山信仰』があります。

このたびの世界遺産の登録にあたって『構成資産』として最初にあげられているのが、頂上に建立された神社などの信仰遺跡群です。そして、山腹や麓には

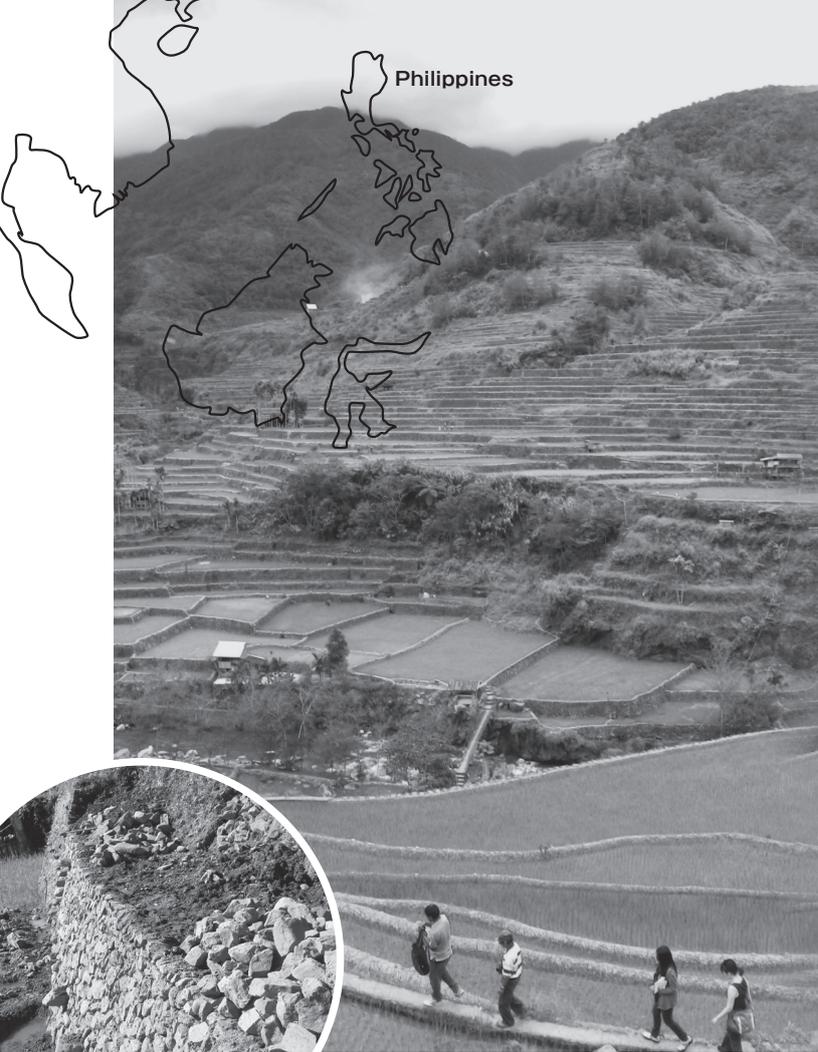
今も宿坊や多くの霊地があります。

「今回の世界遺産登録は、富士山の自然と文化の融合が評価されたものです。ということ、今後私たち日本人は富士山の自然だけを守ればよいということではなく、その文化も守り、後世に受け継いでいかなければならない義務を負ったということですよ」と、吉田さん。

近年、入山が許可される夏の2か月間に富士山に登る人の数は、約30万人といわれていました。それが世界遺産に登録

流水の海、二万年のブナ森、サンゴ礁……。日本には世界に誇れる「多様性」があります。





▲世界遺産に登録されているフィリピンのコルディリェラ棚田群。

◀石積みの修復技術など、日本と類似しているものも多い。

されたことで、さらに膨れあがるだろうと予想されています。しかし、自然の威厳を感じて登れる「適正人数」は、専門家による試算では年間20万人。

登山の前に富士山の伏流水が湧き出る泉で身を清め、宿坊に泊まって僧侶の話に耳を傾け、荘厳なる自然に敬意を払って登頂を目指した富士登山。その「文化」を継承する適正人数は、現状の半分ということです。それを守る制度をつくること。それが、今後の大きな課題です。

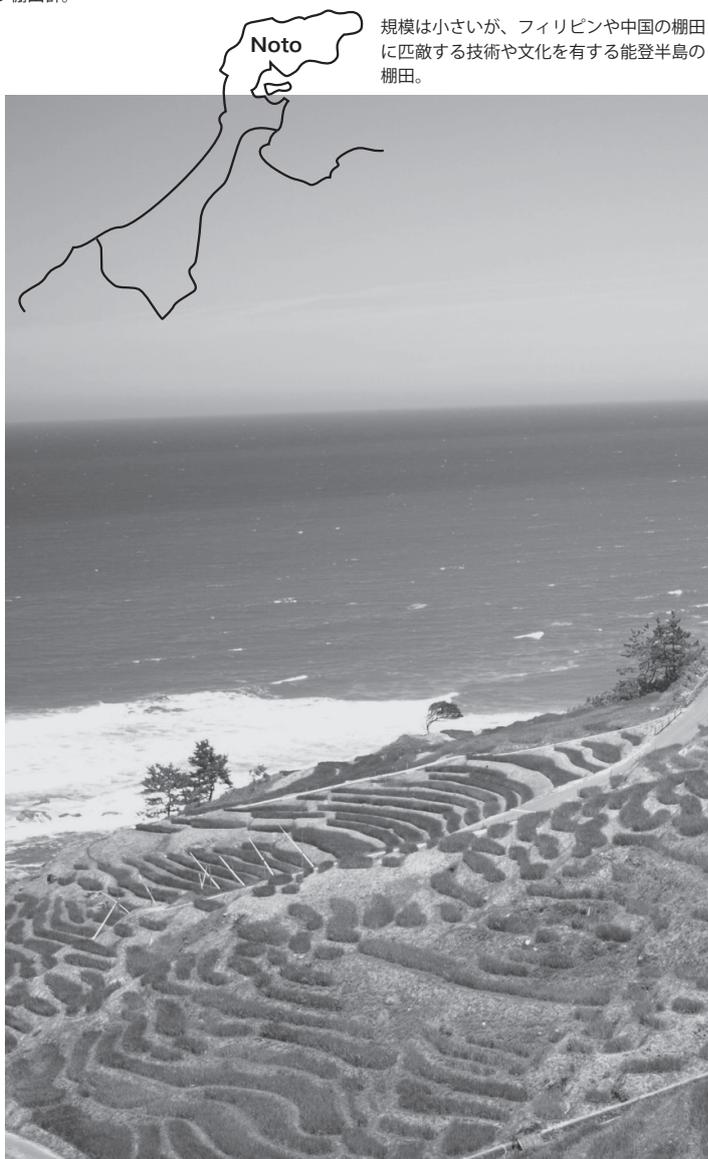
「あまり報道されていませんが、今回の世界遺産登録には、『環境収容力』を適正に保つためのルールをつくるのが課

されています。そして2016年2月には成果報告の義務があり、その結果では登録抹消の可能性もあるのです」

富士山登録の審議に同席していた吉田さんは、各国の委員が重ねてこのルール作成を強調していたことを深く受け止めなければいけないと話します。

「これまでの、富士登山は『百名山制覇』のような登頂することを目的としたものが主流でした。しかし、今後は時間にゆとりをもった日程で、森を味わったり、そこに生息する生きものに親しんだりしながら、ゆっくりと登るものへ移行できるといいと思います。すでに地元では溶

規模は小さいが、フィリピンや中国の棚田に匹敵する技術や文化を有する能登半島の棚田。



多様な豊かな日本の「地域の遺産」を守る

岩洞窟や豊かな森林など、五合目から下の「麓の自然」を楽しむ『富士下山』が進められています。富士山の世界遺産登録で、日本人の自然との接し方を変えることができると思いますね」

「世界遺産と自然保護」と聞くと、「人類共通の財産である貴重な自然を守る義務」と捉えがちです。しかし1992年、日本は『世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）』の

締結国になる時点で、「自国の貴重な自然や文化を守る義務を負う」ことになっています。

つまり私たち日本人は富士山や知床、屋久島などの世界遺産に登録されたものだけでなく、身近な森の自然や町内に残る文化遺産を守っていかなければならぬということなのです。

「富士山と一緒に世界遺産に登録された場所に『中国ハニ族の棚田』があります。日本にも能登半島や佐渡をはじめ、各地にそれに類する棚田が残っています。しかしどこも過疎化や農業の衰退による人手不足で、棚田の維持が危うくなって



ティッシュペーパーや電気…。
消費者の選択で
守れる自然があるんです。

いるのが現状です。棚田を維持する石積み
の技術などは、後世にきちんと伝承し
ていかないと、いつか棚田が維持できな
くなりません。伝承技術というのは一度失
えば消えてしまい、再現ができない「文
化」なのです」

そのような場所のできたお米を購入し、
田植えや稲刈りなどの援農活動に参加す
る、そういうことも大切な日本の遺産保
護活動だという吉田さん。自らも千葉の
田んぼで、無農薬の稲作を続けています。

20%の消費生活が変化すれば 自然保護は大きく変わる

現在、世界には981の世界遺産があ
ります。それらは一見、私たちの生活か
ら遠く、その保護は保有国に託されてい



るかのように思いがちです。

しかし各地の『世界遺産』のなかには、
保護の可否が私たち日本人の生活に密接
している遺産も少なくありません。

オーストラリア南部に位置するタスマ
ニア島の原生地域は、1982年に貴重
な自然と先住民文化アボリジニの文化遺産
が評価され、複合遺産として世界遺産に
登録されました。しかし当時、隣接地で

オーストラリア・タスマニア島にある世界遺産登録
地域「クレイドルマウンテン国立公園」。
登録当時近隣では、日本に輸出されるために
森の伐採が行われていた。



北欧では、すでに30～40%の消費者が
環境に配慮した商品を選んでいる。

は、登録地域と同等の森林が現地企業と
日本企業の合弁会社によって伐採され、
ティッシュペーパーとして日本に輸出さ
れていたのです。幸い、現地のNPOの
活動により伐採が中止され、企業や州政
府の合意のもと保護が決められ、今年晴
れて世界遺産地域に加えられました。

同じく、オーストラリアのカカドウ国
立公園は、中心部だけがウラニウムの露
天掘り鉱山がある理由で世界遺産から除
外されています。その鉱山から採掘され
るウラニウムは、他でもない、日本の原
発で利用されていたのです。

他にも、携帯電話の製造に欠かせない
希少鉱物を採掘するために、絶滅が危惧
されているゴリラやアフリカゾウが棲む
アフリカの森が伐採され、エビの養殖を
行うためにインドネシアのマングローブ

の森が消えています。

「自分の消費活動が貴重な自然を傷つけ
る可能性を減らすためには、できるだけ
生産現場が把握できる『地産』のものを
選ぶのがいいと思います。そして、多少
価格が高くても、無農薬有機栽培の野菜
など、生態系に悪影響を及ぼさないもの
を選ぶことです」（吉田さん）

ヨーロッパでは、消費者の30～40%が
「環境への配慮」を念頭におき商品を選
んでいるといわれます。しかし残念なこ
とに日本では、そのような視点を持つて
暮らす人はまだ10%程度。「この割合が
20%にあがれば、日本の社会は確実に変
わります」と、吉田さんはいいます。

自分の小さな選択が「人類共通の財産」
につながっていることを意識できれば、
日々の暮らしはきつと変わるはずですよ。



『海のエコラベル』は国際組織
「海洋管理協議会 (MSC)」の認証を受けた
持続可能な漁業の水産物。

『全国ネイチャーゲーム研究大会in東京2013』

2013/6/7-9 稚山徹也(東京都)

Event Report 1

国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された、第23回研究大会のテーマは、『「NATURE」温故知新(出会い)語ろう、お江戸の魅力』。

江戸時代すでに都市であった東京の歴史や伝統、文化、人ひとと自然との関わりを学ぼうと8つのワークショップを準備。落語を彷彿とさせる軽妙な語り口で江戸を語る久染健夫氏の基調講演も好評でした。ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。



『自然を楽しむ自然と遊ぶセミナー①』

2013/7/15 高野美紀(埼玉県)

Event Report 2

『ネイチャーゲームカタログ2013』で紹介されているトランスバレントペーパーやローズウィンドペーパーを活用した、太陽の光を楽しむ活動が印象に残りました。

夏のきらきら輝く太陽の光で窓辺を彩ったトランスバレント。参加者の個性が風に揺られ、木漏れ日に輝いたローズウィンド。「光を感じ、楽しむ」ことの素晴らしさを実感することができました。



被災地復興支援情報

福島の子どもたち16名を向かえ

2013/3/24-31 多々見ゆりか(北海道)

『ふくしまキッズゆうばりコース』実施！
ゆうばりネイチャーゲームの会では、災害ボランティアの経験や昨年『ネイチャーゲーム全国大会』で福島県協会の梅津さんの話を聞いたのをきっかけに、「私たちができる支援をしよう」と昨年の夏から『ふくしまキッズゆうばりコース』を始めました。

今年の春は、スノーシューハイイクで(ワイールドバターン)環境教育の時間で(動物交差点(動物質問室)などを行い、ただ楽しく遊ぶだけでなく、自然に触れて感じ、自然環境について学べるプログラムを工夫しました。多くの地元の方がたご協力もいただき、プログラムは大成功！子どもたちは満面の笑顔で帰っていきました。
夏は8月6、19日に実施。内容はホームページで紹介しています。



学生が中心となって活動する『ゆうばりコース』。詳しくは、<http://yubari.naturum.ne.jp> をご覧ください。



全国銘菓 お茶っこ広場 開催中!

被災地で、仮設住宅にお住まいの方々のコミュニティ支援を続けています。あなたの地元銘菓を、被災地に送ってください。

実施日

- 大槌: 10/20、11/17
- 雄勝: 9/28、12/1

詳しくは、以下でご確認ください。

<http://www.naturegame.or.jp/square/sinsai/cat522/cat522.html>



News

日本シェアリングネイチャー協会 理事会・総会報告

本年5月に平成25年度第1回理事会、6月に通常総会・臨時理事会を開催。以下の議案が承認されました。

- 平成24年度事業報告
- 平成24年度決算

正味財産増減計算書 (単位:円)

科目	24年度
一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	4,562
受取入金金	507,000
受取会費計	37,770,500
公益目的事業収益合計	69,839,822
受取補助金等計	3,248,000
雑収益計	20,847
経常収益計	111,390,731
(2) 経常費用	
公益目的事業費計	94,899,754
管理費計	12,309,147
経常費用計	107,208,901
当期経常増減額	4,181,830
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	4,181,830
一般正味財産期首残高	52,106,299
一般正味財産期末残高	56,288,129
正味財産期末残高	56,288,129

- 中期経営計画
- 中期経営計画推進委員会の設置
- 各種委員会の委員の選任

●新役員を選任

【留任理事/監事】稚山徹也、清水建司(業務担当)、西澤信雄(代表)、服部道夫、松田政行、宮本雅行(専務)、三好直子(常務)、浅見 哲(監事)、永井礼正(監事)

【新任理事】石崎一記、井上 満(常務)、太田原康志、去田ゆかり、猿渡清正、瀬尾隆史、辻田良雄、日置光久

【退任理事】青山裕子、阿部利也、岡田 彰、小泉紀雄、白川広之、能條 歩、原 康三、藤本光世、保母禎造、山引満男

県シェアリングネイチャー協会 設立

●香川県シェアリングネイチャー協会 これにより合計45協会

地域実践団体設立

さっぽろ幼児ネイチャーゲームの会(北海道)、堺シェアリングネイチャーの会(大阪府)、由布くぬぎの森シェアリングネイチャーの会(大分県)、かごしま・みなみシェアリングネイチャーの会(鹿児島県) これにより合計211会

指導者養成委員会報告

●平成25年度委員の任命

宮本雅行(委員長)、石崎一記、井上 満、小泉紀雄、神内恵子、能條 歩、服部道夫、峯岸由美子、三好直子、山口哲也

●トレーナーの評価、講師新制度の検討

●インストラクター研修講座、自然体験活動リーダー等の検討

2012年度

ネイチャーゲーム奨励賞発表

【指導者養成部門】

最優秀賞 木谷一人

優秀賞 多々見ゆりか+鶴田義明

努力賞 小崎昭一

【普及部門】

最優秀賞 岩手県シェアリングネイチャー協会

宮城県シェアリングネイチャー協会

優秀賞 岩手県シェアリングネイチャー協会

山形庄内ネイチャーゲームの会

恵那山ネイチャーゲームの会

受賞理由は、ホームページをご覧ください。

http://www.naturegame.or.jp/for_member/manabi/shoreisho/002376.html

10月20日は

第7回全国一斉

『シェアリングネイチャーの日』

*本誌P.11に関連情報あります

毎年10月の第3日曜日は「全国一斉シェアリングネイチャーの日」です。イベントに参加したり、家族や仲間と、またはひとりで・・・日常のほんのひと時、自然とふれあってみませんか? Facebook「シェアリングネイチャーの日」で体験をシェアしましょう。

●実施日: 2013年10月20日(日)

見ないで分かる?! 動物のふしぎな力

数ある感覚のなか、「視覚」に

80%を頼って暮らしているといわれる人間。

しかし意外や意外、動物のなかには音や匂いで判断しているものがいっぱいいます！

下の絵に描かれている動物は何？ そして2つの矢印、どちらが長いと思いますか？

じつは、視覚は一度固定されるとなかなか修正が利かないといわれます。私たちが判断の多くを頼っている視覚にも、限界があるのです。

一生のほとんどを地中で暮らすため、目が退化して、明かりを感じる程度の視力しかないといわれるのがモグラの仲間です。けれど、彼らは縦横無尽に地中を行き来してミミズなどを捕まえて食べます。彼らは匂いを立体的に捉えることができ、ひと嗅ぎしただけで匂いの発生源を見極めることができます。さらに、モグラの仲間のなかには、鼻の先にあるひだで触って物を判別するものもいます。

フェロモンを発して、行く道々自分の匂いを付けて歩くことにより、迷わず巣に帰れるといわれるのがアリ。彼らは、触覚で他のアリを触ることにより、匂いで仲間と敵を嗅ぎ分けます。聴覚、嗅覚、味覚、触覚…。人間にも多くの感覚があります。見ただけで理解したと思わず、もっともっと触って、聴いて、味わって。毎日の暮らしを多彩で豊かなものに使いたいですね。

もぐらの鼻

「匂い」も嗅げば

さわりゃわって

もの「探る」

村山哲哉 (むらやま てつや)

文部科学省初等中等教育局課程理科教科調査官。理科教育の理念と効果的な学習手法の普及のために、年間170校以上の小学校を訪れ、教員へのアドバイスなどを行う。日本シェアリングネイチャー協会体験型環境教育研究会委員。

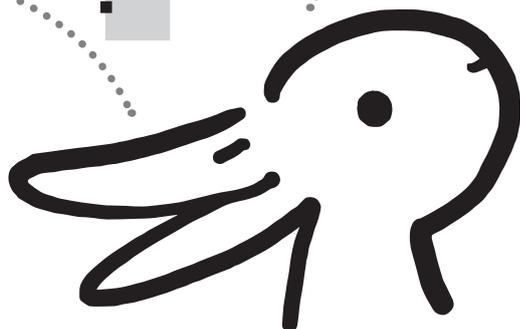


何に見える？



うさぎ

おひる



どっちが長い？

長さは同じ。
納得できない！
「目」の錯覚。

目かくしイモ虫

「目隠し」は他の感覚を開く鍵。目隠しをする
と、嗅覚、聴覚、触覚など、視覚以外の感覚が
研ぎすまされます。いつもと違う感覚をつかっ
て、自然をじっくり感じてみましょう。

それまで聴こえなかった鳥の声や風の音が聞
こえ、今まで感じなかった土や草の匂いを感じる
ことがきっとできます。——心地よく自然を味わ
えるネイチャーゲームです。

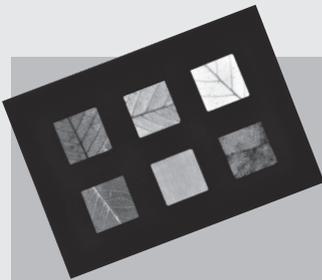
- ① 4〜6人ぐらいの人数で、一列に並びます。
- ② 先頭のリーダー役以外は、バンダンなどで目隠しをして、両手を前の人の肩にのせます。
- ③ リーダー役は、嗅覚・聴覚・触覚を使って感じられる自然を選び、みんなを案内します。
- ④ 目隠しをとって、もう一度同じ場所を歩き、感じたことをみんなで話し合います。



リーダーは、手を引いてあげるといいよ。

Present

アンケートに答えて
自然を楽しむグッズを
ゲットしよう！



①落ち葉の窓 (4枚セット) 3名様
本誌P.2で紹介した『落ち葉の窓』。いろいろな色の落ち葉を切って、フレームに貼り付けるだけで、素敵な作品のできあがり！ 秋の散歩が楽しくなります。



サイン入り

②四角友里著
『一歩ずつの山歩き入門』3名様
本誌連載中の四角友里さん、待望の新刊本！ 山歩きが大好きな女性に向けた、情報満載。楽しく、おしゃやかに、自然を楽しむヒントがつまっています。



③月のお茶 4名様
月の満ち欠けのリズムにあわせ、心と体を整えるためのハーブティーです。満月／上弦／新月／下弦のなかから、1パックをプレゼント。

*応募方法は、以下QRコードまたは、アンケート投稿サイトから。
アクセスをお持ちしています。
<http://www.efeeel.to/survey/sn02/>

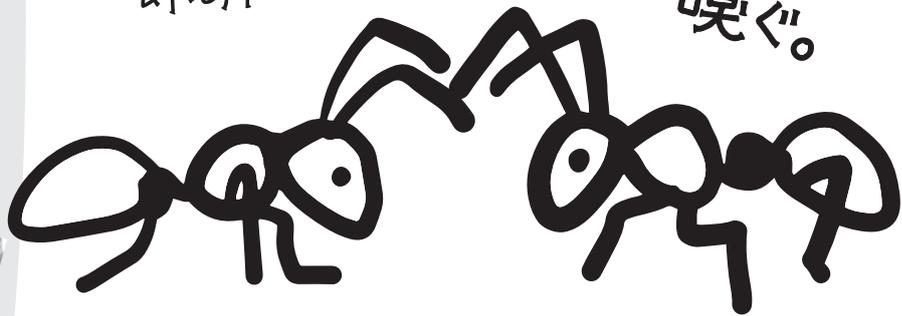


モグラひと嗅ぎ。
餌も敵の居場所も
分かるなり。



仲間には、
餌のありかを伝え

アリは、触覚で
匂いを嗅ぐ。



敵だと分かれば
「蟻酸」で撃退！



さまざまな分野の達人にインタビューを行い、長年にわたる自然との付き合いで得た気づきや自然観を紹介します。

農業は

家族の健康を守るもの。

そして、愉快で楽しい！

農業や化学肥料を使わない

「自然農法」の先駆者

須賀一男・サカ江

『有機無農薬』の農作物は、最近では広く一般に認識されてきました。その中でも、須賀さんがご家族で取り組んでいる「自然農法」のスタイルは、無農薬、無化学肥料にこだわり、緑肥など「自然の力」を活用する農法です。

「自然農法をはじめた最初の年は、稲が小さく、まっ黄色になってしまっ、近所の人からも心配されたほどでした。それでも農薬や肥料を使っていたときの7〜8割の収穫はあって、なんといつても食べた、おいしい！」

当初から、確かな手応えを感じたというサカ江さん。

今から50年近く前のこと。スーパーや直売店もない時代。最初は近所の人に配って味確かめてもらったり、知人が癌を患っていると聞けば野菜を背負って

届けたりと、身近な人から少しずつ須賀野菜のファンを増やしていったそうです。

もともと実家が農家

だった一男さんが、自

然農法に興味を持ったのは、子どもものに患った肺炎を自己の自然治癒力を高めることで治した経験からでした。農家を継いでしばらくは養蚕や養豚を行っていましたが、子どもが生まれたのを機に夫婦で相談し、自然農法の米や野菜づくりに転換しました。

「基本は『家族を守る』こと」というサカ江さんに、一男さんは「病気の人がうちの野菜を食べて良くなったという経験が、励みになっている」と続けます。

須賀さんの野菜はいつしか近所で「お



子どもに安全な野菜を収穫

いしい野菜」と評判になり、それとともに須賀家は「医者にかからない家族」としても有名になりました。

最初は反対した一男さんのお父さんも、92歳まで元

気で過ごし、亡くなったときには「骨がしっかりしていて骨壺に入らず、葬儀場の人を驚かせた」そうです。

そんな須賀さんの農業の基本は、「自然観察・自然規範・自然順応」。

サカ江さんは「先生は自然界にある」といいます。「土づくりが基本。山の土壌のような土」にすることを心がけてきた」とは一男さん。

「人間が一所懸命水をあげても芽が出ないニンジンが、雨が1日降っただけでいつせいに芽吹くなんていう経験からも、



プロフィール

須賀一男・サカ江 ●すか かずお・さかえ

1933・32年、埼玉県生まれ。一男さんは、15歳の時に肺炎を自身の自然治癒力を高める「浄化療法」で治した経験から、体や健康に関心を持つ。長男の誕生を機に、夫婦で相談し「農業や肥料に頼らない農業」を決意。以後、試行錯誤を続け、独自の自然農法を確立する。多くの研修生を受け入れ、自然農法の普及にも力を入れている。

自然の力を感じる（一男さん）そうです。自然農法では「適地適作」ということがよくいわれます。しかしサカ江さんは、「同じくらい、適期適作」も大切だといえます。「作物をよく観察していれば、自ずとやるべきことがわかる」と。

「毎年、7月中旬に大量発生するカブトエビやホウネンエビ目がけて、うちの田んぼにだけカモが飛来します。近所の犬が他の田んぼを通り越して草を食べに来るのも愉快」と笑うサカ江さん。

終始和やかなお二人に、自然農法の大変さは感じられません。最後にその秘訣をお聞きすると、「毎晩、その日畑で発見したことや楽しかったことを話して寝るの。楽しいことを聞いて寝れば、明日も楽しくなるでしょ」（サカ江さん）と。80歳と81歳、今も現役のお二人です。

10月20日(Sun)

シェアリング

ネイチャーの日。

色をさがしに出かけよう!

●シェアリングネイチャーの日に、〈森の色あわせ〉をやってみよう
自然のなかにある、さまざまな色を探すゲームです。

1. 切り取り線にそって左のサンプルカードを切り取ります。

2. 近くの散歩道、公園、緑地などに出かけます。

3. サンプルカードと同じ色のものを自然のなかで探します。

→見つけたものを写真に撮ってFacebookページに投稿しよう。



自然の中には色がいっぱい

10月20日(日)は、全国一斉

シェアリングネイチャーの日

2013年のテーマ:《色》

開催日:
2013年
10月20日
(日)



公益団法人 日本シェアリングネイチャー協会

「シェアリングネイチャーの日」は、毎年10月第三日曜日に、身近な自然を自由に楽しもうというコンセプトで開催されている参加自由型イベントです。

事前の登録も、ややこしい手続きもありません。

10月20日中であれば、ベランダでも、公園でも、いつもの散歩の途中でも、1人でも、仲間と一緒にでも、1分でも、1時間でも、

あなたが自然を楽しむ活動をしたその瞬間、その場所がイベント会場となります。

体験を
Facebookで
シェア

<https://www.facebook.com/snnohi>

全国各地の
イベントに
参加してみよう

全国イベント情報
<http://www.naturegame.or.jp/experience/event/>

シェアリングネイチャーについて、まずはここから↓

<http://www.naturegame.or.jp/>

日本シェアリングネイチャー協会の主な業務内容 ●ネイチャーゲーム普及事業 / 指導者養成・研修事業 / 講師派遣 / 自治体や企業からの受託事業



イベント風景



サンプルカード



足元に広がる
無数のいのち。
植物からの
メッセージ。

尾瀬・燧ヶ岳からの下山時、
熊澤田代の草紅葉。枯れゆ
きながらも輝く命に、感動。



秋の山歩きは、ゆっくり
ゆっくり。色と音を楽し
みながら歩く。



なんにもしない

よすみゆり
四角友里の

アウトドア

「畏れ多い」という感情を抱いたのは、
黄金の草紅葉が広がる秋の山だった。
「自分がここを歩いてもいいのだろうか」
……歩を進めるのが怖かった。
枯れゆきながらも輝く、この植物たちと同じくらい
ひたむきに生きていくかと、胸に問う。
美しい「景色」が、無数の「命の集合体」に見えた。
春夏秋冬を、植物たちが命のリレーで紡いでゆく。
自然界に溢れる生命の色を味わいながら
心で山を歩きたい。
「花だけを追いかけないようにするのが大切な」
植物の生涯を感じる
小さな世界を作りたい……と
ガーデニングを愛する母がよく話してくれた。
山を歩くようになり、わたしはその意味を知った。
わたしたちが1歳から続けている
「歩く」という根源的な行為で、自然と繋がる山歩き。
山から持つて帰られる
たったひとつの胸のなかに残るもの。
歩けば歩くほど、自分の心の中心に近づき
本当に大切なものがみえてくる。
そして、そんな自分たちも、自然の一部なのだ
自然が教えてくれるんだ。

Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウエア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信する。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔ももつ。現在はニュージーランドの湖畔の森と東京を拠点に、ふたつの国の山歩きを楽しむ。



New Book

『一歩ずつの山歩き入門』 ¥1,200+税
女性の山歩きデビューから2泊3日の山小屋泊トレッキングまで、四角友里流のノウハウを全公開。

